

今年も出陣!



▲前回のコラボフラッグ

佐野美術館は、国内有数の刀剣コレクションで知られるとともに、開館以来毎年、全国でも類を見ないほどの多彩で充実した企画刀剣展を行ってきました。三島市は平成28年度開催の刀剣展「名刀は語る 磨きの文化」で、過去に例のない新たな試みとして、PCブラウザ&スマホ向けゲーム「刀剣乱舞-ONLINE-」とのコラボレーション(以下コラボ)企画を実施。スタンプリィやグッズ販売を行い、若い女性を中心に全

国から多数のファンが三島を訪れました。平成29年度開催の刀剣展「上杉家の名刀と三十五腰」では、前年度の企画に加え、三島大通り商店街にコラボフラッグを掲揚。三島のまち全体で企画を盛り上げました。この2度の展覧会は、佐野美術館52年の歴史の中で、刀剣展の入館者数1位、2位に輝いています。今回の「REBORN 蘇る名刀」展においても本ゲームに登場する刀剣が展示されるため、「骨喰藤四郎」「不動行光」「義元左文字(宗三左文字)」を中心に展示記念のコラボ企画を実施します。今号では、「REBORN 蘇る名刀」展、三島市×「刀剣乱舞-ONLINE-」コラボ企画の魅力について、お届けします。

「刀剣乱舞-ONLINE-」とは、PCブラウザ&スマートフォン向け刀剣育成シミュレーションゲームです。本ゲームには、名だたる刀剣が戦士へと姿を変えた「刀剣男士」と呼ばれるキャラクターたちが登場。個性豊かな刀剣男士を収集・強化・育成、部隊を結成し、さまざまな合戦場を攻略していきます。本作の流行により若い女性を中心に刀剣愛好家の層は広がり、「刀剣男士」のモチーフと

刀剣乱舞-ONLINE-とは

なった刀剣を鑑賞するため、全国各地に足を運ぶ人々が増えていきます。また、本ゲームと刀剣を所蔵する寺社や博物館・美術館などが協働することで、文化財を活用した観光振興・地域活性化に寄与してきました。また、平成29年新語・流行語大賞には「刀剣乱舞」がノミネットされるなど、広く認知を獲得。これまであまり展示されることのない品が展示される運びとなるなど、その影響は幅広い分野に波及しているといえます。



▲刀剣男士
骨喰藤四郎



▲刀剣男士
不動行光



▲刀剣男士
宗三左文字

刀剣乱舞 -ONLINE-

コラボ内容

昨年度好評だったコラボスタンプラリーを軸に展開。今年度は、刀剣の展示期間にあわせ、前期（1月7日(月)～30日(水)、後期（2月1日(金)～24日(日)）に分けて開催します。新春を彩る催しをお楽しみください。

※1月31日(木)はすべてのコラボが開催されません。ご注意ください。

■コラボスタンプラリー

市内の文化・観光施設に設置されているスタンプ5種のうち、佐野美術館を含む3種以上のスタンプを集めると景品を贈呈します。

■コラボグッズ販売

三島でしか買えない限定のコラボグッズを販売。



▲前回のスタンプラリーシートと景品



▲前回のコラボの様子

■等身大パネル展示

場佐野美術館ほか

内等身大パネル「刀剣男士「骨喰藤四郎」「不修行光」「宗三左文字」

※各刀剣の展示期間中のみ

■コラボフラッグ掲揚

場三島大通り商店街

内刀剣男士「骨喰藤四郎」「不修行光」「宗三左文字」＋ゲーム案内役「このすけ」

■伊豆箱根鉄道電車ジャック

伊豆箱根鉄道駿豆線の1編成3両の中吊り・車額ポスターが刀剣男士に。エンブレムも刀剣乱舞仕様に模様替えし、三島・修善寺を走行します。

※続報や詳細については、公式ホームページや公式ツイッターをご覧ください。



▲市公式ツイッター



▲市公式HP

佐野美術館展覧会 「REBORN 蘇る名刀」

日本刀の輝きは、時代を超えて人々を魅了してきました。長い歴史の中で、戦乱や天災に巻き込まれ、焼きただれ、鉄の塊となってしまうものもありましたが、焼き直しという手法で傷ついた刀剣に再び命を吹き込み、今日まで伝えてきました。現在では文化財保護の観点も視野に入れ、この試みが続けられています。

本展では、国宝・重要文化財6点を含む約50件の刀剣を紹介いたします。

平成31年1月7日(月)～2月24日(日)
午前10時～午後5時※入館受付は午後4時30分まで、木曜休館、会期中一部展示替えあり



▶短刀 銘行光(名物 不修行光) 鎌倉時代個人蔵 通期展示

▶重要文化財 薙刀直シノ 無銘吉光(名物 骨喰藤四郎) 鎌倉時代 豊国神社蔵

〔展示期間：1月7日(月)～1月30日(水)〕

佐野美術館 渡邊妙子館長からのメッセージ

日本の優れた多くの名刀が、自然災害や内戦などで失われました。豊臣秀吉は天下の名刀を大量に集め大坂城に収蔵していましたが、元和元年(一六一五)大坂夏の陣で名刀のほとんどが灰塵に帰りました。その落城の中から村人が焼けた短刀を見つけ出し、家康に届けました。家康は太閤御物の焼身を、刀工康継に焼き直させ、自分の御殿に保存して現代に伝えました。

このように傷ついた名刀に手をかけ蘇らせたのは、家康が初めての例です。家康の人柄が偲べられます。ぜひ、実物を見にお越しください。



問文化振興課 ☎9833・2756